



七十人会長会
ウォルター・F・ゴンサレス長老

キリストに従う人々

キリストに従う人々は救い主に倣^{なら}って生活し、光の中を歩きます。

昨年の10月、妻とわたしはニー
ル・L・アンダーセン長老夫妻と
ともにアルゼンチン・コルドバ
神殿の鋳入れ式に出席しました。式が終
わると、いつものように記者会見が開かれ
ました。教会の会員ではないある女性記
者が、教会の男性たちが妻を非常に大切
にしている様子を見かけたと言いました。
それから彼女は、ふいに「あれはほん
との姿なのですか。それとも見せかけ
ですか」と質問しました。その記者はそ
こにいた会員の振る舞いを見て何か特別な
ものを感じたのでしょうか。彼女はキリスト
に従いたいという会員たちの望みに気づい
たのかもしれませんが。全世界の教会員がそ
のような望みを抱いています。同じように、
教会の会員ではない非常に多くの人々も、
主に従いたいという望みを抱いています。

最近、妻とわたしは、ガーナとナイジェ
リアの人々を見て感銘を受けました。そ
れらの国の大多数の人は、この教会の会
員ではありません。彼らが会話の中で頻
繁に、キリストに従いたいという望みを表
しているのを目にし、うれしく思いました。
その望みは、自宅や車の中で、また、壁や
看板に表されていました。これほど多く
のキリスト教の教会が林立しているの
を見たことはありませんでした。

末日聖徒であるわたしたちには、このよ
うな大勢の人々に対し、この教会に来て、
すでに彼らが持っている良いものに加え
られるものがあることを知っていただくよ
う招く義務があります。どのような大陸、

気候、文化圏の人であっても、預言者ジョ
セフ・スミスが示現の中で御父と御子に
まみえたことを自分自身で知ることができ
ます。また、天の使者が神権を回復した
ことや、モルモン書がイエス・キリストの
もう一つの証である^{あかし}ことを知ることができ
ます。エノクの言葉どおり「……天から義
[が下り]、地から真理[が出て]、[御父]
の独り子……について証[する]」¹のです。

救い主は次のように約束されました。
「わたしに従って来る者は、やみのうちを
歩くことがなく、命の光をもつであろう。」²
キリストに従う人々は救い主に倣^{なら}って生活
し、光の中を歩きます。どれほど救い主
に従っているかを見極めるのに役立つ、
二つの特質があります。第1に、キリスト
に従う人々は愛情深い人々です。第2に、
キリストに従う人々は聖約を交わして守り
ます。

第1の特質である愛情深さは、恐らく
コルドバの記者が教会員の中に見いだし
たものの一つでしょう。わたしたちがキリ
ストに従うのは、キリストを愛しているか
らです。わたしたちが愛のゆえに^{あがな}贖い主
に従うとき、主御自身の模範に倣^{なら}っている
のです。救い主はその愛のために、どのよ
うな状況にあっても御父の御心^{みこころ}に従われ
ました。わたしたちの救い主は、肉体的、
精神的に激しい苦痛^{むちう}のさなかでさえ従順で
あられました。鞭打たれ、あざけられても、
敵に苦しめられ、友に見捨てられても、従
順であられました。救い主固有の使命で
ある贖いの犠牲は、最も大いなる愛の表現

です。「彼はみずから懲らしめをうけて、
われわれに平安を与え、その打たれた傷
によって、われわれはいやされたのだ。」³

キリストがどのような状況でも御父に従
われたように、わたしたちも御子に従うべ
きです。そうすれば、どのような迫害や苦
しみ、悲しみ、肉体のとげ^{あざ}を経験しよう
とも問題ありません。わたしたちは孤独
ではありません。キリストは必ずわたした
ちを助けてくださいます。いかなる状況
にあっても、わたしたちは主の深い憐れ
みにより強められます。⁵

キリストに従うとは、モアブの女性ルツ
のように、大切なものを捨てることを意味
します。改宗者であるルツは、神とナオミ
への愛ゆえにすべてを捨てて信仰に生き
ようとしてしました。⁶

それは、試練と誘惑に抵抗することも
意味します。ヨセフは若いころ、奴隷とし
て売られました。彼は愛するすべてのも
のから引き離されました。後に純潔を破
るよう誘惑されたとき、それを拒んで、「ど
うしてわたしはこの大きな悪をおこな
って、神に罪を犯すことができましょう」⁷
と言いました。彼はどのような試練や誘惑
にも屈しないほど神を愛していました。

今日世界中に現代のルツとヨセフがい
ます。エクアドルのグアヤキルに住むジ
ミー・オルベラ兄弟が伝道の召しを受け
たとき、彼の家族は大きな試練を受けて
いました。彼が家を離れる日、家から外
に出たら家族の縁を切ると言われました。
心が痛みましたが、彼は家を出ました。
伝道の召しを果たしていると、母親から、
家族はとでも多くの祝福を受けているか
ら、もっと長く任地にとどまってほしいと
いう便りが届きました。現在、オルベラ兄
弟はステーキ祝福師です。

実に、愛にあふれたキリストは、わた
したちが主に従うことができるよう、必要な力
を授けてくださいます。主御自身がこのこと
を示されたのは、ペテロに3度「わたしを
愛するか」とお尋ねになったときでした。
ペテロが主を愛していることを再びはっき



りと明言した後、主はペテロにこれから起こる苦難について話しました。それから、「わたしに従ってきなさい」とお招きになりました。「わたしを愛するか」という、ペテロに対する救い主の問いかけは、わたしたちに対する問いかけでもあります。続いて、行動するよう呼びかけておられます。「わたしに従ってきなさい。」⁸

従順になろうと努力するうえで、愛は強い影響力を及ぼします。救い主に対する愛は、主の戒めを守るようわたしたちを鼓舞してくれます。母親、父親、ほんりょう伴侶への愛もまた、福音の原則に従うようわたしたち

を鼓舞してくれます。ほかの人々にどのよう⁹に接するかは、わたしたちがどれほど救い主に倣って互いに愛し合っているかを映し出します。主が模範を示されたように、わたしたちが立ち止まって人々を助ける¹⁰とき、「すべてのことについてまったく正直でまっすぐで」あるとき、聖約を交わし、守るときに、わたしたちは主への愛を表しているのです。

キリストに従う人々の第2の特質は、主がなさったように聖約を交わして守ることです。モロナイはこう指摘しています。「キリストの血が流されたのは、あなたがた

の罪の救^{ゆる}しのために御父が聖約されたことによるものであり、それによってあなたがたは染みのない清い者となるのである。」¹¹

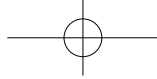
預言者ジョセフ・スミスは、この地球が組織される前にすでに天で聖約が交わされていたと教えました。¹² 古代の預言者や祝福師も聖約を交わしました。

救い主御自身が模範を示しておられます。主はすべての義を成就するために、正しい権能を持つ人物からバプテスマをお受けになりました。バプテスマを通じて、救い主は御父のすべての戒めを従順に守ることを御父に証明されたのです。¹³ 昔も現在も、キリストに従い、神権の儀式を通して聖約を交わします。

聖約を交わすことは、この教会の会員でない大勢の人々が、すでに自分たちの持っている非常に良いものに加えることが可能な事柄です。聖約を交わすことは、愛を表すことです。それは、「はい、わたしはあなたに従います」と、主に伝える一つの方法なのです。

聖約には「……永遠の命」の約束が含まれています。¹⁴ 聖約を覚えていれば、万事があなたがたの益となるようにともに働くでしょう。¹⁵ 聖約に含まれる約束を完全に受けるには、聖約を交わして守らなければなりません。救い主を愛し聖約を覚えることは、聖約を守る手助けとなります。聖餐せいさんを受けることは、聖約を覚えておく一つの方法です。¹⁶ もう一つの方法は、頻繁に神殿に参入することです。ある南米の若い夫婦のことを思い出します。彼らは夫婦仲が良くないために離婚を望んでいました。賢明な神権指導者がこの夫婦に、神殿に参入し、そこで交わされる聖約の言葉と約束に特別な注意を払うよう勧告しました。夫婦はそのとおりに行い、彼らは離婚の危機から守られました。聖約の力は、わたしたちが直面するどのような試練よりも強力です。

福音に積極的でない会員の皆さん、どうぞ戻って来てください。聖餐と神殿参入により聖約を覚え更新することによって得



七十人
ケント・F・リチャーズ長老

られる祝福を感じてください。積極的になることは、愛を示すことであり、キリストに真に従う者になりたいという意志を表明することです。そうすれば、約束されたあらゆる祝福を受ける資格を得ることができるのです。

教会の会員でない皆さん、信仰を働かせ、悔い改め、末日聖徒イエス・キリスト教会でバプテスマの聖約を受けるための資格を得ようお勧めします。それにより、皆さんは天の御父への愛とキリストに従いたいという意志を表明できるのです。

イエス・キリストの福音の教えに従うときに、わたしたちはさらに幸福になれることを証します。主に従おうと努力するならば、天の祝福がもたらされます。聖約を交わして守り、キリストに真に従う者となる時に主の約束が果たされることを知っています。主がわたしたち一人一人を深く愛しておられることを、イエス・キリストの御名により証します、アーメン。■

注

1. モーセ 7:62
2. ヨハネ 8:12
3. イザヤ 53:5
4. 2コリント 12:7
5. 1ニーファイ 1:20 参照
6. ルツ 1:16 参照
7. 創世 39:7-9 参照
8. ヨハネ 21:15-19 参照
9. ヨハネ 13:35 参照
10. アルマ 27:27
11. モロナイ 10:33
12. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』42 参照。スペンサー・W・キンボール, “Be Ye Therefore Perfect” (1975年1月10日にユタ大学で行われたLDSインスティテュートのディポーショナルにおける説教)——「わたしたちは、この死すべき世に来る前に神聖な誓いをしました。……わたしたちは聖約を交わしました。わたしたちは、この地上に住む身を受け入れる前に聖約を交わしました。」も参照
13. 2ニーファイ 31:5-7 参照
14. アブラハム 2:11。ジョン・A・ウィットナー, “Temple Worship” (1920年10月12日にソルトレーク・シティのアセンブリーホールで行われた講義), 10も参照——「聖約により真理に生命が吹き込まれ、知識を……正しく用いるすべての人に親しいとして祝福が授け

しよくざい 贖罪は い や すべての苦痛を癒す

わたしたち個人にとって現世での大きなチャレンジは、「キリストの贖罪により……聖徒」になることです。

わたしは外科医であったとき、勤務時間のかなりを痛みの問題に対応していることに気づきました。必要に迫られて、ほとんど毎日、手術によって痛みを与え、そして、その痛みを抑え、緩和するために多くの努力を払いました。

わたしは苦痛の目的についてじっくり考えてみました。苦痛を経験しない人はだれ一人としていません。人々を見ると、苦痛への対処はそれぞれ大きく異なります。怒って神から離れ去る人もいれば、苦しみことで神にもっと近づく人もいます。

皆さんと同じように、わたしも苦痛を経験しました。痛みは癒しの過程を知るのに役立つとともに、しばしば忍耐することを教えてくれます。病人を指す英語の“patient”には、忍耐という意味が含まれています。

オーソン・F・ホイットニー長老はこう述べています。「わたしたちの味わう苦痛、経験する試練はどれ一つとして無駄なものはない。それによってわたしたちは訓練され、忍耐力や信仰、不屈の精神、謙遜などの特質が養われるのである。悲しむべき苦痛、試練、

ロバート・D・ヘイルズ長老も同様のことを述べています。

「痛みによって謙遜になり、思いを深められるようになります。耐え抜くことができたこの経験に感謝しています。……

肉体に痛みを感じ、大手術を受けた後に得る肉体への癒しは、霊に苦痛を覚え、悔い改めの過程を経て得る霊の癒しと酷似していると気づきました。」²

苦しみの多くは必ずしも自分の過ちによるものではありません。予期せぬ出来事、期待とは逆の状況や失望を招く状況、日常生活を阻害する病気、また死さえもわたしたちに付きまとい、わたしたちの現世の経験に影響を与えます。そのほかに、ほかの人々の行為がもつて苦難を受けることがあります。³ ヤコブは「兄たちが乱暴なために……つらい思いをした」と、リーハイは述べています。⁴ 天の御父の幸福の計画の一部として、相反するものがあります。わたしたちは皆、逆境に遭うと、御父の愛と、救い主による助けの必要性に気づかされるのです。

救い主はただ黙って見ている御方ではありません。救い主はわたしたちが経験する苦痛を個人としてよく御方でお

